

経営のヒント78 経営にとって最大のコストは 時代とのギャップ」

過去を振り返ると、正しかった決断は、マイナスの決断だった！

先日、松井証券の松井道夫社長の講演を聴きに行ってきました。  
とっても 参考になりました。

2- 1= ?

1987年 1000億円 ……世界の中心は供給者 (企業)

1999年 6兆5000億円 ……自由化

2006年 30兆円 ……世界の中心は消費者 (顧客)

経常利益 370億円 (社員 120名 一人当たり1億円)

これが松井証券の実績である。

しかし、インターネット証券では2番手、減益で自分自身の奢りもあり失敗したと反省していました。

2- 1= 3

何故かは、2の中には (+ 1)と(- 1)がある。

2+ 1= 1にしかない！

過去を振り返り、正しかった決断は何か？

それは全てマイナスの決断であった。

つまりは (過去を)捨てる決断であった。

何故か？

それは時代が変わったのだ。

捨てる強みを計算できるか、どうか、ポイント

不安だからリスクに打ち勝てる。突破口が開けるのだ！

外交セールス、コールセンターを捨てるとき、

そのコストをお客さんが認めるかどうか、ポイント

経営にとっての最大のコストとは？

それは 時代とのギャップ」

そのギャップを縮めるのか、広げるのか？

その決断が出来るのは、社長だけ。

あえて言えば、社長の頭次第。

## <経営のヒント>

### 「坐忘」

捨てた後、余白が出来る！

…捨てた後ではないと、新しい創造は出来ない。

「破壊」の後に「創造」がある！歴史でも経営でも同じこと

マイナス部門。どれだけコストが掛かっているか？計算してみましょう！

捨てた後。それから、人間は必死でそれを埋め合わせる知恵と工夫をするものである。

困らせない限り、知恵は出てこない」トヨタの格言でした。